

専門科目	地域・精神看護学	在宅看護学実習	○	○	○	○	◎	在宅で療養している対象者とその家族に対して、生活を尊重しながら生活の質(QOL)向上の視点から看護援助が実践できる基礎的能力を身につける。
		地域看護学概論	◎	◎	○	○	○	健康問題の変遷や健康課題を概観し、健康管理を支援するための地域保健活動を理解する。
		公衆衛生看護学概論	◎	◎	○	○	○	公衆衛生看護活動の理念(原理・原則)を理解する。地域住民を捉える視点および予防的視点から健康水準の向上をめざす保健師の役割を理解する。
		公衆衛生看護援助論	◎	◎	○	○	○	1. 地域で生活する人々の健康問題の解決や、地域の健康課題の組織的な解決に必要な公衆衛生看護活動技術の基本を学習する。 2. 対象別看護活動として成人・高齢者・母子および感染症を取り上げ各々の保健師活動の実践を学習する。
		公衆衛生看護学実習	○	○	○	○	◎	地域の多様な場において生活する人々の健康の維持増進を支援する保健師としての基礎的能力を養うことを目的とする。
		ケアマネージメント	◎	◎	○	○	○	さまざまな健康レベルの対象に、公衆衛生看護と在宅看護を実践していくために必要なケアマネジメント、およびケアマネジメントの基盤となる地域ケアシステムについて理解する。
		健康教育方法論	○	○	○	○	◎	健康教育をヘルスプロモーションとの関連で理解し、健康教育の企画・指導案の作成や準備・実施・評価までの一連の健康教育を展開する過程における基本技術を習得する。
		学校保健論	◎	○	○	○	○	学校における保健管理、保健教育、組織、保健室の運営、身体とこころの健康問題をとりあげ、学校保健の重要性について理解する。学習・生徒の身体の健康維持・増進における学校の役割については、母子保健と関連させ理解する。こころの問題については、子どものメンタルヘルスクアでとりあげた問題の中でも発達障害児のこころの問題を重点的にとりあげる。また、母子保健と学校保健の連携のあり方について学習する。
		産業保健・看護論	◎	◎	○	○	○	産業の場における人々の心身の健康課題を取り上げ、産業保健・看護活動の基礎的な知識および技術を習得する。
		保健医療福祉行政論	◎	◎	○	○	○	少子高齢化社会や市町村合併等社会情勢の変化に伴い行政の機能と役割も大きく方向転換してきており、時代の流れと人々の意識の変化に対応できる公衆衛生看護職が求められている。当科目では、公衆衛生行政の視点から、地域の特性や健康課題に対応できる保健師の機能と役割について考察する。
		健康管理論	○	○	○	○	◎	地域・公衆衛生看護活動の基礎的な理論および技術を習得するために、あらゆる健康問題および健康レベルにある地域住民の健康管理について理解する。
		疫学	◎	○	○	○	○	人間集団(社会)の健康維持・増進に必要な統計情報や疫学的解析手法および予防政策について理解し、応用できるようにする。
		家族看護学	◎	○	◎	○	○	ケアの対象となる人々のためのケアシステムについて理解する。
	ケアシステム論	◎	○	○	○	○	看護の対象となる人々のためのケアシステムについて理解する。	
	総合看護学	原書講読Ⅰ	○	○	○	○	○	看護学に重要な原書を講読し、これまでの学習、看護や自分の体験をふまえながら原書の内容を理解する。
		原書講読Ⅱ	○	○	○	○	○	エビデンスに基づく看護の探求や、看護の新たな知識開発のために、英文や外国語で書かれた看護に関する論文や著書を選択して読解する能力を習得する。
		看護管理学	○	○	○	○	○	医療・医学の発展過程を踏まえ、患者に質の高いケアが提供できるための様々な看護管理の方法について理解する。
		看護教育学	◎	○	○	○	◎	看護教育の歴史、教育課程、教育方法、教育評価など、看護教育の基本的知識を習得する。
		看護研究Ⅰ	◎	○	○	○	○	1) 研究の基礎的知識や方法について理解する。 2) 看護研究の過程について理解する。 3) 研究の用に即した研究デザインのあり方について理解する。 4) 各領域における現存問題となっていることや、社会的問題から、自ら問題意識を研究テーマへ発展させて探求する能力を修得する。
		看護研究Ⅱ	◎	◎	◎	◎	◎	1) 研究の基礎的知識や方法論について理解する。2) 各領域における現在問題となっていることや、社会的な問題から、自ら問題意識を研究テーマへ発展させて探求する能力を修得する。
看護倫理		○	○	○	○	◎	医療のめざましい進歩によって多大な恩恵がもたらされている一方、看護倫理に関する問題が増加している。日々の医療行為には、いつも倫理的問題が潜んでいると捉えることも必要ではない。倫理的問題は、患者を傷つける医療人の日々のなげない行動や言葉から、高度な医療に伴う問題までさまざまである。種々の看護倫理に関する問題をとりあげ、医療行為を行うにあたって、倫理(正義であること)、マター(責任と思いやりをもつて患者に対応すること)が、看護者にとって最も基本的な態度であることを学習する。	
国際看護活動論		○	◎	○	○	○	This course is an introduction to understand of the concept of International Nursing and health, the global perspectives on health, and the global cooperation and collaboration of nursing and other health care providers.	
災害看護		○	◎	○	○	○	災害の種類と危機的な状況に置ける看護について理解する。	
看護導入実習		◎	○	○	○	◎	1. 実習を行う医療機関の特徴、医療・看護システム、実習病棟において治療頻度の高い疾患、その治療法等について事前に学習することで、スムーズな実習への導入をはかる。 2. 職業生活を志す学生への安全で安楽な援助を行うための援助技術の再確認を行う。	
看護統合実習	◎	◎	◎	◎	◎	保健医療チームの一員として、看護を統合的かつ継続的に展開し、看護の実践能力を高める。		
養護教諭免許関係科目	養護概説Ⅰ	◎	◎	○	○	○	養護教諭の専門性に基づいた養護活動の基礎について学ぶ。養護教諭の職務と果たすべき役割、子どもを取り巻く健康問題とその解決の支援について考える。さらに養護概説論としての基礎的、応用的知識・技術を学び科学的な理論と実践の中で研究的な貢献・力量を身につける。	
	養護概説Ⅱ	◎	◎	○	○	○	養護概説Ⅰで学んだ内容をもとに健康問題解決支援のための具体的な養護活動の方法について学ぶ。また、学校教育において養護教諭が行うべき養護活動および、養護活動を機軸とした幅広い支援活動を実践できる能力を養う。	
	健康相談活動	◎	◎	○	○	○	現代の急変する社会背景の中で、いじめや不登校、薬物乱用、性的逸脱行動、生活習慣病、新たな感染症の出現等、児童・生徒の健康の維持・増進を阻害する深刻な要因が増加している。養護教諭は児童・生徒の心身の健康問題にいち早く気づくことのできる立場にある。「健康相談活動」は、養護教諭の職務の特性や保健師の職能を生かした健康相談活動の基礎・基本を学び、理解することを目的とする。	
	養護実習	○	○	○	◎	◎	学内で学習した内容を実践し、養護教諭としての資質、知識、技能を習得する。	
	養護実習事前事後指導	○	○	○	○	◎	事前指導は養護実習への円滑な導入と、より高い実習の成果を得るための準備を整えることを目的とする。また事後指導は実習で体験したこととを整理し、他の学生の経験と共有することにより、養護教諭に必要な資質や知識、技能を大成することを目的とする。	
	教職実践演習	○	○	○	○	◎	1. 養護教諭として教育に対する使命感、責任感、倫理感を養う 2. 社会、組織の一員としての社会性、コミュニケーション能力を養う 3. 児童生徒理解及び保健室経営能力を養う 4. 養護教諭として健康教育に関する指導力を高める	